

平成23年度 仏教テレフォン相談 統計分析表

平成23年6月1日～平成24年5月31日

[29年目]

相 談 開 室 日 数	217日
相 談 者 数	3,597人
1 日 平 均 相 談 者 数	16.6人
相 談 総 件 数	4,041件
1 日 平 均 相 談 件 数	18.6件

仏教テレフォン相談には、毎日、様々な悩み、苦しみ、救いを求める声が寄せられます。

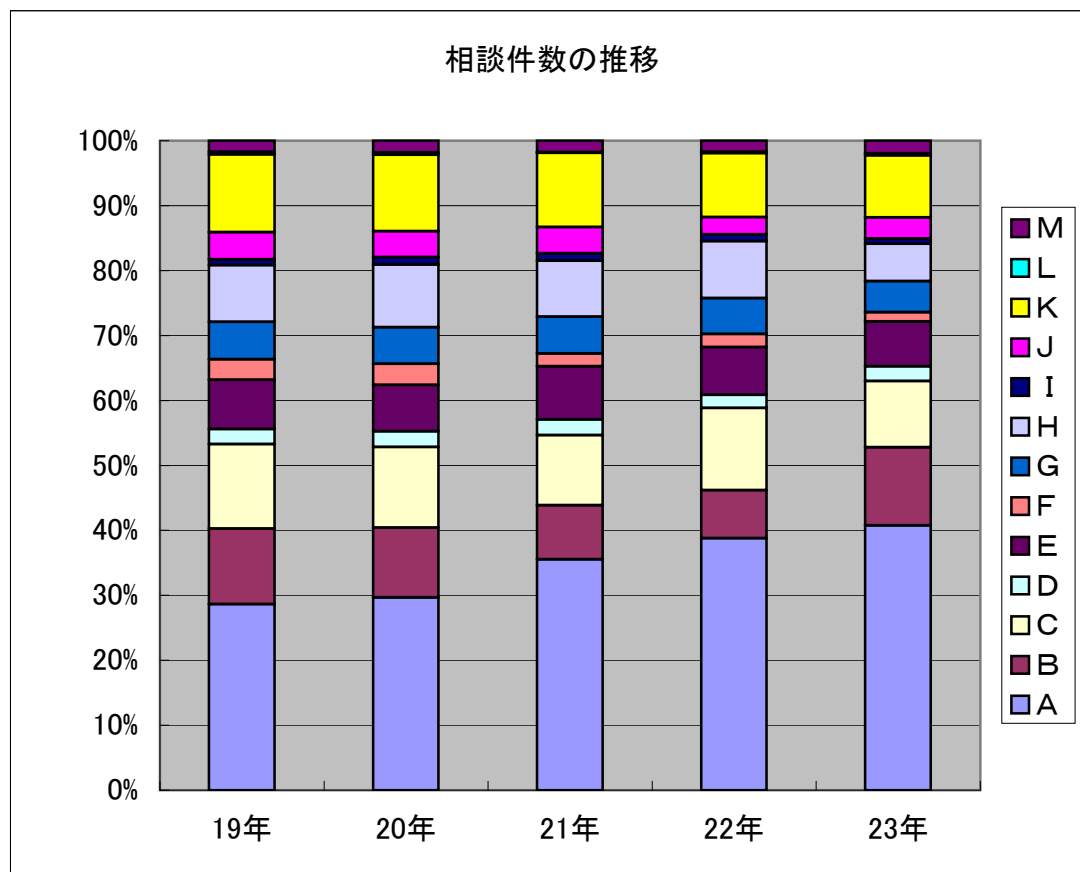
それらの声から垣間見える現代社会の現象を考察してみました。

仏教ブームである。数年前に開かれた阿修羅展には1日平均1万6千人が来場し、雑誌も
仏像の特集を組むと販売が伸びるそうである。仏像に限らず、最近では美坊主なる言葉も
登場し、韓流スターの如く美しい男性僧侶が人気だそうだ。いやはや、何が流行するか本当
に分からない。仏教ブームが、ただのブームに終わるかどうかは、実は私たち僧侶の資質
にかかっている。今まであまり変動のなかった「B・信仰の意味、教義、仏教文化や学問」の
相談が飛躍的に伸びた。仏教に興味を持った方々は、当然、色々な疑問を持つだろう。仏
教は複雑で判りにくい。インドと中国と日本では、まったくと言っていいほど仏教の形態が異
なる。インドだけを学んでも日本の仏教は判らず、日本の仏教を学んでも、祖師信仰が強い
ので仏教の本質を理解するのは難しいかもしれない。それでも知りたいのである。仏教に興
味があるとか、癒されたいということは、仏教の中の慈悲を無意識に感じるからである。そ
れを言葉としてどう伝えていくか、僧侶の資質にかかっている。せっかく仏教を身近に感じ、
もっと知りたいという人がいるのに、その人の心に響く仏教の話ができないとしたら、本当に
ブームで終わってしまう。私たちの責任は重い。

統計・水本／報告・互井

大分類

	件数	
A 人生相談	1,648	40.8%
B 信仰の意味、教義、仏教文化や学問	486	12.0%
C 葬儀、法要、供養、永代供養	412	10.2%
D 戒名・法名	91	2.3%
E 寺院・僧侶・既成教団の在り方や運営	279	6.9%
F 仏教の年間行事、特殊法要	58	1.4%
G 家庭での祀り方やお勤め	193	4.8%
H 仏事の常識やマナー	233	5.8%
I 既成寺社の祈願・祈祷	32	0.8%
J 占い、迷信、霊感・霊視商法(既成仏教以外のこと)	132	3.3%
K お骨・埋葬、墓地・墓石	386	9.6%
L ペット・針・人形などの供養	12	0.3%
M その他、時事問題や仏教以外の行事など	79	1.9%
	4,041	
N 行政機関やマスコミからの問い合わせ	74	



男女比

男性 38.9% 女性 61.1%

10代	4	2
20代	46	8
30代	146	138
40代	245	392
50代	331	543
60代	267	515
70代	265	350
80以上	45	174
不明	50	76
合計人数	1,399	2,198

